

工場跡地の公園整備による賑わい創出と防災性向上



写真 西大寺南ふれあい公園全景

事業の各段階のポイント

計画策定時のポイント

～跡地の活用を進めるための都市緑化フェアの主会場としての誘致～

平成6年3月に閉鎖されたカネボウ錦糸(株)西大寺工場跡地の貴重な都市空間としての活用は工場閉鎖後から、地域の重要な課題であった。

本地区では、緑とオープンスペースの不足のみならず、少子高齢化が進行する中で、幅広い年齢層が集い、ふれあう場が不足している状況の解消が求められた。そこで、全国的イベントである「全国都市緑化フェア」の主会場としての誘致を企画した。

公園内体験学習施設を計画するにあたり、防災の観点から次の工夫を行った。①災害時の避難スペース（約600㎡）として活用するため、多目的ホールの観客席を可動式とする。また、物資等の保管場所としても活用するため、舞台ステージの搬出路にシャッターを設け、建物外から多目的ホール内への搬出入を容易にする。②実習室（火気使用室）での災害時の炊き出しができるようにする。③浸水等に備えて自家発電設備、受変電設備は2階に設置する。

事業実施期間中のポイント

～公園の整備計画に関する地元との合意形成～

用地買収を含めた事業着手後、開催の誘致を行った全国都市緑化フェアまで約2年間という制約された期間での実施のため、円滑な合意形成を図る必要があった。そこで、工事説明会、住民参加による管理運営方法のワークショップの開催等を実施。それにより、公園の周知が図られるとともに、地元住民にも公園への愛着がわき、公園事業への理解を得ることができ、大きな苦情もなく、短期間で整備を行うことができた。

写真 整備前―更地
(グラウンドや臨時駐車場等暫定利用)

(注)事業の各段階のポイントは、各事業関係者より情報提供いただいた内容を取りまとめたものです。

事業の位置づけや背景

本公園は、西大寺地区において「まちの賑わいを創出する」をテーマに水と緑と花の豊かな まちの顔となる空間、また地域の防災に資する空間をつくり、地域のさまざまな参加活動の場となるものである。

地区等の問題点・課題

西大寺地区は、「岡山市緑の基本計画」において緑化推進重点計画に位置付けられているとともに、吉井川や旧街道の街並み等の水と緑に恵まれた地区である。平成6年3月に閉鎖されたカネボウ錦糸(株)西大寺工場跡地は、岡山市の西大寺地域のみならず、岡山県南東部の拠点となりうる貴重な都市空間として、地元からも地域活性化に役立つよう要望が挙げられていた。

事業の目標・整備方針

市民の憩いと集いの場として、世代間交流やまちの賑わいを創出するとともに、緑化や環境に関する体験学習を通して緑化意識の高揚を図る。災害時には避難地として機能し、市民の生命を守る。

事業内容

「まちの賑わいを創出する」をテーマに、水と緑と花の豊かな風格のあるまちの顔と核となる空間、また地域の防災に資する空間をつくり、地域のさまざまな参加活動の場となる公園とする。

■事業計画諸元

- 事業名：都市公園事業【西大寺南ふれあい公園】
- 事業主体：岡山市
- 位置：岡山市東区西大寺南一丁目
- 総事業費：約60億円
- 事業概要：
 - ・公園種別：地区公園
 - ・面積：40,373㎡
 - ・事業期間：平成19年3月30日～平成22年3月31日

- ◎園路広場：多目的広場（約5,500㎡）
はらっぱ広場（約5,100㎡）
メインエントランス（約1,700㎡）
- ◎修景施設：せせらぎ、林床花壇、植栽
（樹木106種類約9,800本／地被類32種類
約28,000ポット／張芝約10,000㎡）
- ◎遊戯施設：幼児、児童用遊具 一式
- ◎教養施設：体験学習施設『百花プラザ』
（鉄骨造3階建て／建築面積3,278㎡／延床面積4,886㎡）
- ◎便益施設：駐車場（約3,600㎡）
屋外便所（RC造平屋／2棟）
- ◎防災施設：耐震性緊急貯水槽（100㎡級、1基）
屋外非常用トイレ（9穴）
防災備蓄倉庫（体験学習施設内 約23㎡）



図 計画平面図



図 事業位置図

■事業経緯

平成 5年	カネボウ西大寺工場が操業停止
平成 6年	カネボウ西大寺工場が工場閉鎖
平成 7年 3月	西大寺地域拠点整備推進事業用地
	として、岡山市土地開発公社が用地を取得
平成10年	カネボウ工場跡地利用基本構想 おかやまキッズ・ミュージアム（仮称） 基本計画策定
平成11年	おかやまキッズ・ミュージアム（仮称）基本 計画策定を白紙撤回
平成13年 3月	西大寺地域中心市街地活性化基本計画
	上記計画にて、中心市街地活性化の 先導的役割を果たす、「元気な新拠点」 として位置づけられた。 「岡山市緑の基本計画」では、新たな まちづくりの拠点と合わせた緑化の推進 を図る緑化推進重点地区とされた。
平成14年度	低未利用地活用促進モデル調査
	当公園は「地域住民を対象とした新しい まちづくりの拠点にふさわしい公園」として、 工場跡地活用の一翼を担うものとして、合意 形成が図られてきた。
平成17年 2月	岡山県知事による第26回全国都市緑化おかやま フェア（平成21年3月開催）誘致表明
平成19年 3月	西大寺南ふれあい公園の都市計画決定・事業認可
平成19年度	西大寺南ふれあい公園の事業着手
平成20年10月	公園内体験学習施設完成
平成21年 3月	第26回全国都市緑化おかやまフェア開催 主会場の一部として暫定利用
平成22年 4月	供用開始（平成22年4月1日）

事業効果

1. 市民の憩いの場「まちの賑わいを創出する」
元気な拠点の創出
2. 災害時に備えた、一次避難地としての整備に
より安心・安全の確保

〈防災公園の特徴〉

- 公園周囲に延焼遅延機能を持つ緑地。
- 体験学習施設を災害時には避難所として開
放することが可能。
- 徒歩可能な半径1km圏内の被災者を想定した
飲料水専用の耐震性貯水槽を設置。